

令和4(2022)年10月21日

足利灯り物語2022の実施について

産業観光部 観光まちづくり課

(0284-20-2264)

このたび、秋のイベントとして、鏝阿寺や史跡足利学校等をライトアップする「足利灯り物語 2022」を、下記のとおり実施しますのでお知らせいたします。

足利ならではの文化財やまちなみなどをライトアップし、日中とは趣の異なる幻想的な空間に磨き上げることで、市民や国内外からの観光客に楽しんでいただける夜景を演出します。

昨年に引き続き、あしかがフラワーパークと連携し、日本一のイルミネーションとの相乗効果により、更なる誘客につなげます。鏝阿寺や史跡足利学校の建造物や黄葉等のライトアップや、同園監修のもと「花手水」と「和傘」、「竹灯り」を史跡足利学校内に設置します。光に包まれた文化財建造物や庭園・黄葉など、思わず写真を撮りたくなるような美しい光景を提供します。

この機会にぜひ、夜の足利をお楽しみください。

記

1 事業主体 足利灯りのある街づくり実行委員会

2 事業概要

(1) イベント期間及び灯り点灯時間

鏝阿寺、史跡足利学校：令和4年11月4日（金）～23日（水・祝）

各日とも17:00～20:00 【延べ20日間】

足利織姫神社：10月22日（土）～11月27日（日）

各日とも16:30～22:00

物外軒：11月18日（金）～20日（日）の3日間限定

各日とも17:00～20:00 足利市教育委員会事務局文化課が実施

(2) 会場、ライトアップ等の内容

①鏝阿寺

- ・大銀杏をメインにライティングし、黄葉を一層際立たせるとともに、幹にも光を当て、その存在感を十分に感じられるライトアップを実施
- ・本堂を象徴的にライティングするとともに、多宝塔や一切経堂、楼門（仁王像）にもライティングを施すことで、灯りの空間に奥行きを持たせる。
- ・楼門から本堂までの参道に銘仙行灯を配置し、動線上の賑わいを創出する。

② 史跡足利学校

- ・既設照明を活かしつつ、通常時の演出とは異なるライティングを施し、史跡の魅力を最大限に引き出せるよう照明を配置する。
- ・あしかがフラワーパークに協力いただき、昨秋好評を得た花手水や和傘のライトアップに加え、竹灯りの演出による更なる幻想的な空間を演出する。
- ・期間中、「字降松」の切り絵アニメーションを毎日上映（雨天中止）。同作品は文星芸術大学の協力により令和元年度に作成され、好評を博したものの。

③ 足利織姫神社

- ・229段の石段に銘仙行灯を90基設置。銘行灯をプログラムにより7色に変色させ、同神社が有する「七色の鳥居」との色彩的一体感を醸し出す。
- ・他の会場よりも長い時間点灯（午後10時まで）させることで、来場者が灯りの余韻に浸れるとともに、日本百名月に選定された「織姫神社から望む月」との相乗効果により、本市の夜景観光の奥深さを感じていただく。

④ 物外軒

- ・紅葉に染まる国登録記念物の物外軒庭園や、足利市指定重要文化財の物外軒茶室をライティングするとともに、園路に銘仙行灯等を配置し、コンパクトな庭園ながらも見応えのある空間を創出する。

⑤ あしかがフラワーパーク

- ・日本三大イルミネーションに認定され、夜景観光士が選ぶイルミネーションランキングでは6年連続で全国1位を受賞する同園のイルミネーションイベント「光の花の庭」とのコラボレーションを実施。

同園に銘仙行灯を設置することで、「光と灯り」のまちの認知度をさらに高める。

⑥石畳通り

- ・路上に銘仙行灯を設置し、足利学校から鑿阿寺までの動線を幻想的に彩る。

(3) その他実施事業

①ライトアップ商品券の発行

- ・足利学校で夜間入場料（500円）を徴収し、代わりに近隣の店舗で使える300円分のライトアップ商品券を配布。まちなかの賑わいと活性化を創出するとともに、入場料収入の一部を事業経費に充てることで、展示等の充実に繋げる。
- ・協賛店から協賛負担金（2,000円）を徴収し、協賛店舗の目印としてのぼり旗等を作成する費用に充てる。協賛店舗にのぼり旗を設置することで、商品券利用者が店舗を容易に把握できる一助にするとともに、イベントの周知にも繋げる。

②特設WEBページ及びWEBバナー広告等による情報発信

- ・足利灯り物語の開催期間をメインに、足利市の旬な情報を一元化した特設WEBページを作成し、各種ホームページ等とリンクさせることで、幅広い情報を魅力的に発信する。
- ・Yahoo!やGoogle、LINE等のSNSへバナー広告を出稿し、特設WEBページへ誘導することで、効果的な情報発信に繋げる。

③Instagramフォトコンテストの開催

- ・足利灯り物語やあしかがフラワーパークのイルミネーション開催期間中、足利市の自然や風景、食べ物、イベント、人物などを題材としたフォトコンテストを開催。日中から夜間にかけての市内回遊を促進するとともに、SNSを通じた効果的な魅力の拡散を図る。
- ・足利市の名産品を賞品とすることで、更なる魅力の発信に繋げる。

④「灯りと光のあるまち」PRチラシ等作成

- ・足利灯り物語とあしかがフラワーパークのイルミネーション「光の花の庭」を掲載したチラシ等を作成し、「灯りと光のあるまち」の認知度をさらに高める。

⑤セブンチケットによるまちなか回遊事業

- ・あしががフラワーパークのイルミネーション入園券と史跡足利学校の参観券、足利学校周辺等の協賛店舗で使用できる共通お買物券の3点をセットにした企画チケットを販売し、まちなか回遊の促進を図る。

イメージ写真（昨秋の実施写真等）

◆ 鏝阿寺



国宝の本堂と参道に並ぶ銘仙行灯



推定樹齢550年の大イチョウと多宝塔

◆ 史跡足利学校



学校門前に並ぶ銘仙行灯と花手水



現存する日本最古の孔子廟と孔子坐像



花手水と和傘のライトアップ



南庭園に配置された花手水と和傘

◆ 足利織姫神社



229段ある石段に7色に変わる銘仙行灯を設置 社殿もカラフルにライトアップ

◆ 今回の見どころ



史跡足利学校では「竹灯り」を新たに実施
※写真はイメージ

足利市指定文化財の物外軒茶室と、
国登録記念物の物外軒庭園を3日間
限定でライトアップ